

企業景況調査報告書

(令和2年10～12月期)

< 目次 >

質問1 調査の概要・結果概要	1
質問2 直面している経営上の問題点	2
質問3 新型コロナウイルスの影響について	3
質問4 意見等自由記載欄	4
DI集計結果・分布	5
調査票様式	6

倉吉商工会議所

倉吉市明治町 1037-11

TEL 0858-22-2191

FAX 0858-22-2193

Email cci3103@kurayoshi-cci.or.jp

倉吉商工会議所企業景況調査報告書（2020年10～12月）

調査対象企業	倉吉市内の商工会議所会員企業 100 社 (建設業 21 社、製造業 19 社、卸売業 11 社、小売業 22 社、サービス業 21 社、その他 6 社)
調査方法	各事業所宛に FAX にて調査票を送付し、FAX にて返信依頼。必要に応じて訪問回収。
調査時期	令和 3 年 1 月上旬
回収状況	88 社 (回収率 88%) ※前回 (7～9 月) 90 社 (建設業 20 社、製造業 18 社、卸売業 8 社、小売業 20 社、サービス業 18 社、その他 4 社)

全業種における今期の状況は約 1 年ぶりに上昇、来期も上昇する見通し

<今期の状況> (5 ページ表参照)

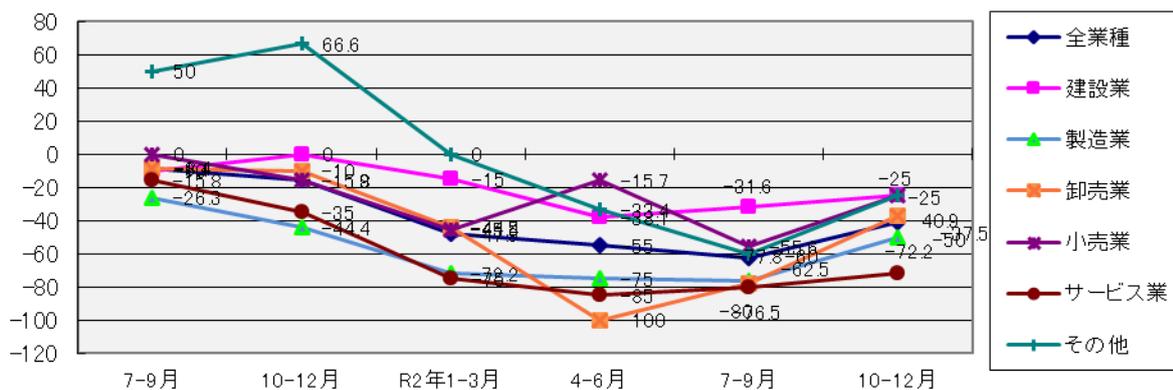
今期の全業種の業況 DI は、前年同期比で前期の▲62.5 から上昇し、▲40.9 となった。業種別に見ると、それぞれ建設業は▲25.0 (前期▲31.6)、製造業は▲50.0 (前期▲76.5)、卸売業は▲37.5 (前期▲77.8)、小売業は▲25.0 (前期▲55.6)、サービス業は▲72.2 (前期▲80.0)、その他の業種は▲25.0 (前期▲60.0) と全業種で上昇している。数的には全業種で回復の兆しが窺えるように見えるが、実際には「好転」したという回答は 1 割にも満たず、「不変」という回答が半数を占める結果となっている。

<来期の見通し> (5 ページ表参照)

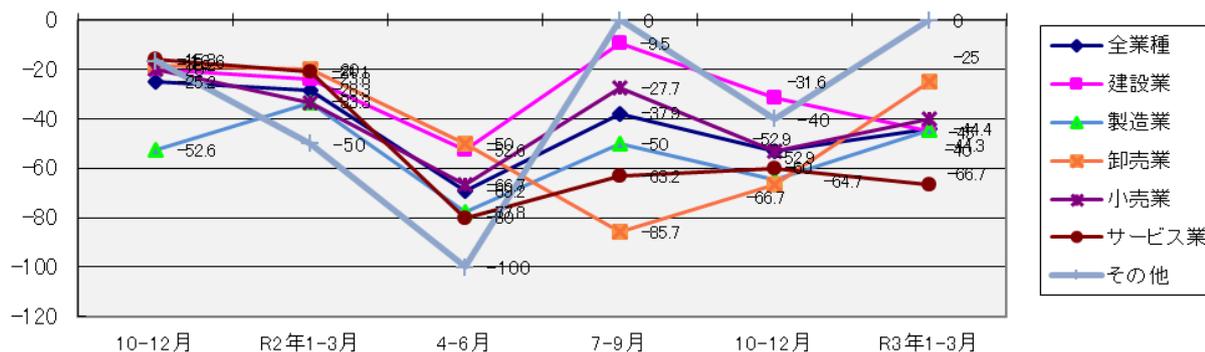
来期の見通し(2021 年 1～3 月)では、全業種の DI 値は前期の▲52.9 から上昇し、▲44.3 となった。業種別に見ると製造業は▲44.4 (前期▲64.7)、卸売業は▲25.0 (前期▲66.7)、小売業は▲40.0 (前期▲52.9)、その他の業種は 0.0 (前期▲40.0) と 4 業種で上昇する見通しとなった。一方、建設業は▲45.0 (前期▲31.6)、サービス業は▲66.7 (前期▲60.0) と 2 業種で下降する見通しとなった。後述するが、飲食業や宿泊施設などのサービス業では新型コロナウイルスによる直接的な影響が大きく、来期もその影響を懸念する様子が窺える結果となった。

<業況判断 DI の推移> ※今期の DI 値集計結果については P5 をご参照下さい。

(1) 今期の状況 <業種別>



(2) 来期の見通し<業種別>



質問2 直面している経営上の問題点（上位3点を回答）

01 競争激化 02 消費・需要の停滞 03 売上・受注減少 04 売上・受注単価低下
 05 原材料・仕入価格上昇 06 原材料・在庫不足 07 原材料・在庫過剰
 08 店舗・生産設備不足・老朽化 09 店舗・生産設備過剰 10 経費の増加 11 人手不足
 12 人手過剰 13 利益率低下 14 代金回収難 15 資金繰り難 16 新分野進出
 17 その他:具体的に()

〔上位項目〕

※（ ）内は件数

分類		1 位	2 位	3 位
全業種	当 期	売上・受注減少 (52)	消費・需要の停滞 (49)	人手不足 (24)
	前 期	売上・受注減少 (67)	消費・需要の停滞 (45)	経費の増加 (27) 利益率低下 (27)
建設業	当 期	売上・受注減少 (13)	消費・需要の停滞 (8) 人手不足 (8)	利益率低下 (7)
	前 期	売上・受注減少 (13)	経費の増加 (9)	利益率低下 (7)
製造業	当 期	売上・受注減少 (12)	消費・需要の停滞 (10)	店舗・生産設備不足・老朽化 (5)
	前 期	売上・受注減少 (17)	消費・需要の停滞 (8)	経費の増加 (6)
卸売業	当 期	売上・受注減少 (5)	消費・需要の停滞 (4) 経費の増加 (4)	競争激化 (3) 原材料・仕入価格上昇 (3)
	前 期	売上・受注減少 (7) 消費・需要の停滞 (7)	競争激化 (4)	原材料・仕入価格上昇 (2) 経費の増加 (2)
小売業	当 期	消費・需要の停滞 (15)	売上・受注減少 (8)	人手不足 (6)
	前 期	売上・受注減少 (11)	消費・需要の停滞 (9)	競争激化 (7)
サービス業	当 期	売上・受注減少 (12)	消費・需要の停滞 (9)	利益率低下 (6)
	前 期	売上・受注減少 (16)	消費・需要の停滞 (15)	競争激化 (6)
その他	当 期	消費・需要の停滞 (3)	売上・受注減少 (2) 人手不足 (2)	店舗・生産設備不足・老朽化 (1) 経費の増加 (1) 利益率低下 (1) 代金回収難 (1) 新分野進出 (1)
	前 期	売上・受注減少 (3)	競争激化 (2) 消費・需要の停滞 (2) 経費の増加 (2) 人手不足 (2)	店舗・生産設備不足・老朽化 (1) 利益率低下 (1) 代金回収難 (1) 資金繰り難 (1)

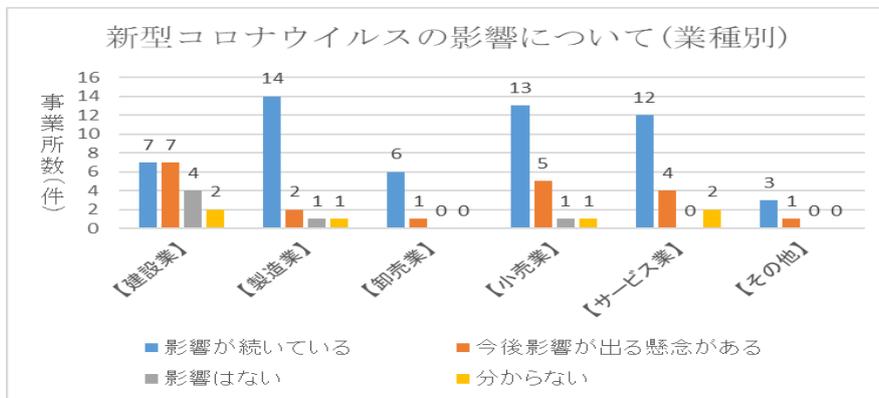
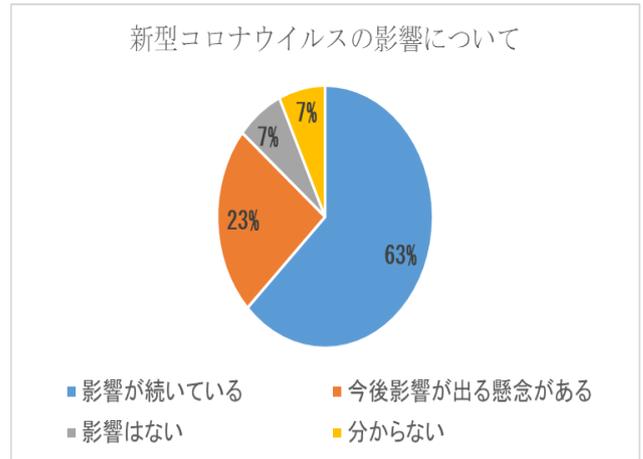
17 その他

- ・コロナ対応
- ・熟練技術者の不足

質問3 新型コロナウイルスの影響について

全体の6割の事業所で新型コロナウイルスの影響が続く

新型コロナウイルスの影響が長期化し、経済の先行きが見通せない状況が続いている。県内においても、一時期は停滞していた感染者数が再び増加傾向にあり、引き続き感染予防の徹底が求められている。それに関連して、新型コロナウイルスによる経営への影響について事業所に調査を行った。その結果、「影響が続いている」が63%、「今後影響が出る懸念がある」が23%となり、全体の約9割の事業所が新型コロナウイルスの影響を受け続けている、又は今後受ける恐れがあることを示す結果となった。また、業種別の結果についてみると、全ての業種で「影響が続いている」という回答が最も多く挙げられ、特に製造業、卸売業、小売業、サービス業ではその特徴が顕著にみられた。



また、「影響が続いている」、「今後影響が出る懸念がある」と回答した事業所について、どのような影響が続いているか（今後どのような影響が出ると思われるか）についても調査を実施した。その結果、建設業からは公共・民間ともに工事の受注量が減少しているという回答が多く挙げられた。製造業、卸売業では受注・売上減少の意見が多く挙げられたほか、飲食業・観光業の動向に左右されるという意見も少数だがみられた。また、小売業・サービス業では、来店客数や団体利用客の減少という回答が大半を占め、特に県内で感染者が出た場合には大きな影響を受けるという意見もみられた。

	どのような影響が続いているか（今後どのような影響が出ると思われるか）
建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予定していた工事が中止、延期になっている ・ 公共工事が減少 ・ 観光業等で設備投資が減少 ・ 大型案件の減少 ・ 中規模以上（千万単位）の受注がないと資金繰りに影響が出る
製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 売上低下が続いている ・ 観光業、飲食業の停滞が影響してきている ・ 受注が減少しており、先行き不透明 ・ 海外向け部品の受注減
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受注の減少 ・ 外食、観光業の動向に左右されている
小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来店客の減少 ・ 景気低迷のための買い控え ・ 人を集める催事が開催しづらい ・ 感染者が増加するたびに来店者が急激に落ちる
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夜のお客様や忘年会等の利用の減少 ・ ホテル、旅館の宿泊数の低下 ・ 県内でコロナが発生するたびに売上が減少する ・ 店を利用された方や周辺地域から感染者が出た場合にはかなり影響が出ると思われる
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務の停止

質問4 現在の景況感、経営上の問題点についての意見又、行政等への要望について

【建設業】

- ・仕事の量が少ない事はさることながら、業界的には慢性的に人手不足が続いている。特に社会の中核をなす 40、50 代の最も必要とされる年代の人が少ない。人を育成(成長)するまでは 10 年近く要すると考えている。中小企業の発展のため行政的には IT 産業等の新しいものばかりに支援されているように感じられるので、もっと多くの業種の職人とか身体を使って働く人にも支援し、人を育てる仕組みが欲しい。とても時間がかかるが、第一次産業、第二次産業、第三次産業が生き残れないと国は成り立たないと感じています。
- ・公共工事の発注をお願いします（倉吉市）。
- ・公共工事早期発注を。
- ・経費節約。

【製造業】

- ・毎日不安ばかりです。先が見えない。
- ・助成金の延長。
- ・先行きが見えない不安。とりあえず早くこの状況が収束してほしい。

【卸売業】

- ・徐々に景気は上向いていますが、コロナ封じに行政はもっとしっかり取り組むべき。医療関係者には感謝です。

【小売業】

- ・先行きが見通せない怖さあり。今後どうなるかわからない不安感と後継者問題は繋がると思う。
- ・行政の支援も大切ですが、まず自助努力が一番肝要な事と思っています。それがあってから助成金請求と思います。今は目の前の事をやるのみです。
- ・Go to トラベル地域共通クーポンが出ている時は使うために単価が上がったように思う。

【サービス業】

- ・税金の延納ではなく免除の方向。
- ・不可抗力による影響に関して打つ手なし。身動き取れず。
- ・持続化の助成金を店舗数で支援してほしい。
- ・現在我社の属する業界は直接的な影響は少ないと思う。しかし、地域全体の経済が縮小すると、結果として当社の業界も仕事が減ることになると考えてます。なんでもいいから財政を出動させて景気全体を下支えしてほしいと思っています。
- ・衛生面での設備投資に助成してほしいです。

D I 集 計(前年同期比=2020年10~12月期、来期の見通し=2021年1~3月期)

【製造業・非製造業別】

	1. 売上高		2. 売上単価		3. 収益状況	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-54.6	-53.4	-21.6	-21.6	-46.0	-48.3
製造業	-66.6	-55.5	-16.7	-11.1	-50.0	-44.5
非製造業	-51.5	-52.8	-22.9	-24.3	-44.9	-49.3

	4. 資金繰り		5. 借入難度		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-10.3	-21.6	3.5	-2.3	-17.0	-10.3
製造業	-11.1	-22.2	5.5	-5.6	-16.7	-16.7
非製造業	-10.0	-21.4	2.9	-1.4	-17.2	-8.6

	7. 業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
全業種	-40.9	-44.3
製造業	-50.0	-44.4
非製造業	-38.6	-44.2

【業種別】

	1. 売上高		2. 売上単価		3. 収益状況	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-54.6	-53.4	-21.6	-21.6	-46.0	-48.3
建設業	-35.0	-45.0	-25.0	-25.0	-40.0	-45.0
製造業	-66.6	-55.5	-16.7	-11.1	-50.0	-44.5
卸売業	-37.5	-37.5	25.0	12.5	-50.0	-37.5
小売業	-40.0	-45.0	-20.0	-40.0	-21.0	-36.8
サービス業	-88.9	-88.9	-44.4	-33.3	-72.2	-83.3
その他	-50.0	0.0	-25.0	25.0	-50.0	0.0
非製造業	-51.5	-52.8	-22.9	-24.3	-44.9	-49.3

	4. 資金繰り		5. 借入難度		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-10.3	-21.6	3.5	-2.3	-17.0	-10.3
建設業	-10.0	-25.0	10.0	10.0	-20.0	-10.0
製造業	-11.1	-22.2	5.5	-5.6	-16.7	-16.7
卸売業	-12.5	-25.0	12.5	0.0	-25.0	-12.5
小売業	0.0	-20.0	5.0	-5.0	-10.0	-5.0
サービス業	-22.2	-27.7	-11.1	-16.6	-22.2	-22.2
その他	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	50.0
非製造業	-10.0	-21.4	2.9	-1.4	-17.2	-8.6

	7. 業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
全業種	-40.9	-44.3
建設業	-25.0	-45.0
製造業	-50.0	-44.4
卸売業	-37.5	-25.0
小売業	-25.0	-40.0
サービス業	-72.2	-66.7
その他	-25.0	0.0
非製造業	-38.6	-44.2

※DI値

売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表します。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。

したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味するものです。DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

事業所名: _____ (お手数ですがご記入をお願いします。)

㊚

倉吉商工会議所企業景況調査票(2020年10~12月期)

調査元: 倉吉商工会議所 TEL:22-2191

FAX:22-2193

【質問1】前年同期と比較した今期(2020年10~12月)の状況と、今期と比較した来期(2021年1~3月)の見通しについて、最も近いものに○印をお付けください。

1) 売上高	(前年同期比)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
	(来期の見通し)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
2) 売上単価	(前年同期比)	1. 上昇	2. 不変	3. 低下
	(来期の見通し)	1. 上昇	2. 不変	3. 低下
3) 収益状況	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
4) 資金繰り	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
5) 借入難度	(前年同期比)	1. 容易	2. 不変	3. 困難
	(来期の見通し)	1. 容易	2. 不変	3. 困難
6) 雇用人員	現在の従業員数	人(うち正規雇用者 人)		
	(前年同期比)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
7) 貴社の業況	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化

【質問2】今期直面している経営上の問題点について、重要度の高い順に該当する番号を回答欄へご記入ください。

- | | |
|------------------|-------------|
| 01 競争激化 | 10 経費の増加 |
| 02 消費・需要の停滞 | 11 人手不足 |
| 03 売上・受注減少 | 12 人手過剰 |
| 04 売上・受注単価低下 | 13 利益率低下 |
| 05 原材料・仕入価格上昇 | 14 代金回収難 |
| 06 原材料・在庫不足 | 15 資金繰り難 |
| 07 原材料・在庫過剰 | 16 新分野進出 |
| 08 店舗・生産設備不足・老朽化 | 17 その他:具体的に |
| 09 店舗・生産設備過剰 | () |

回答欄

1位 _____

2位 _____

3位 _____

【質問3】新型コロナウイルスの影響が長期化し、経済の先行きが見通せない状況が続いておりますが、それに関連して以下の質問にご回答ください

3-1. 新型コロナウイルスによる経営への影響について

① () 影響が続いている / ② () 今後影響が出る懸念がある / ③ () 影響はない / ④ () 分からない

3-2. 3-1で①又は②と回答した方は、どのような影響が続いているのか(今後どのような影響が出ると思われるか)ご記入ください。

[]

【質問4】現在の景況感、経営上の問題点についての意見又、行政等への要望についてご記入ください。

[]

ご協力ありがとうございました。